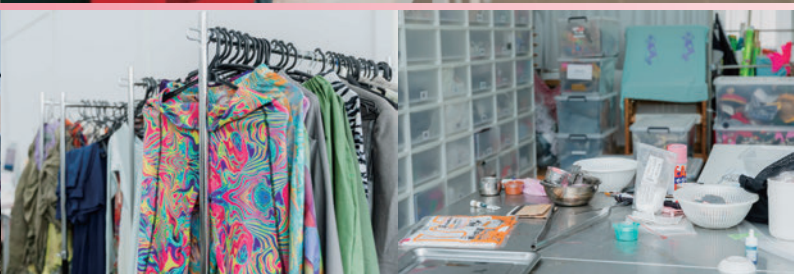
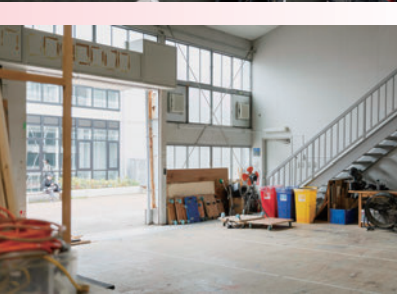
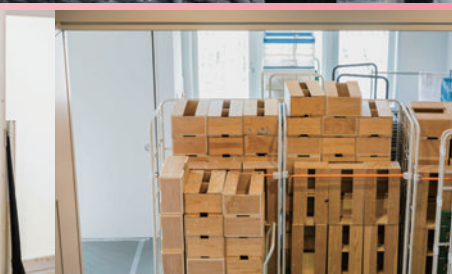
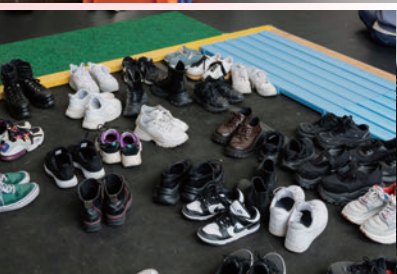




多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科

Tama Art University Department of Scenography Design, Drama, and Dance





兎に角、面白くするんだという「エネルギー」だけで書いた。だからこの私の若い頃の脚本を、若い人が上演する心得があるとしたら、やはりそれはただただ「エネルギー」をもって挑めなのである。
エネルギーをもって演じる。これに尽きる。

多摩美術大学 名誉教授 野田秀樹





25年度より卒業制作はより多くの作家を育成する目的で上野毛キャンパス内の複数のスタジオを使った作品群の発表になります！

2024年度卒業制作演劇公演『半神』
演出 井上祥多
会場 二子玉川ライズ スタジオ & ホール

原作・脚本 萩尾望都 脚本 野田秀樹

「『KI5S』 カミノゲ i ファイブ ステージ」より



作品名 「I NEED☆A☆MAN」

会場 A棟 演劇スタジオ

作・演出 安藤優



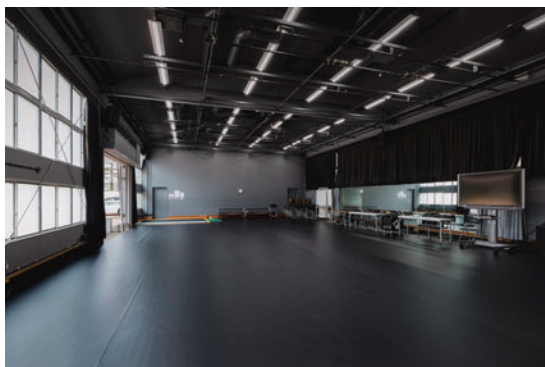
作品名 「マミの天使」

会場 A棟 演劇スタジオ

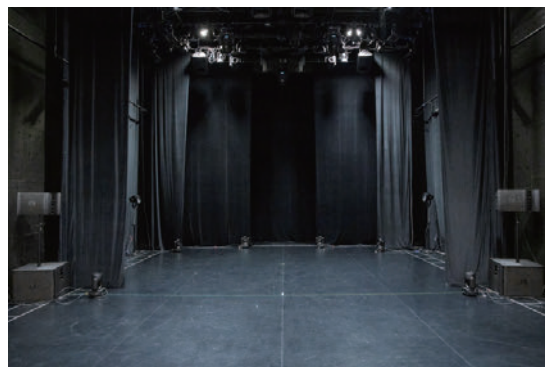
原作 市原佐都子

作 小澤日菜／竹内朱璃

演出 小澤日菜



A棟 演劇スタジオ



演劇舞踊スタジオ スタジオB



上／作品名「HERO AND GANGSTA」

会場 演劇舞踊スタジオ スタジオB

作 工藤進

演出 有馬雛子

左／作品名「important」

会場 演劇舞踊スタジオ スタジオB

演出・振付 菅原空宙／草野浩世

下／作品名「-OS-」

会場 演劇舞踊スタジオ スタジオB

作・演出 野村唯人



演劇舞踊デザイン学科は 《上演芸術》の創作と研究を 世界に向けて発信する学科です

演劇、舞踊、ミュージカル、古典芸能、新しい身体アート・・・

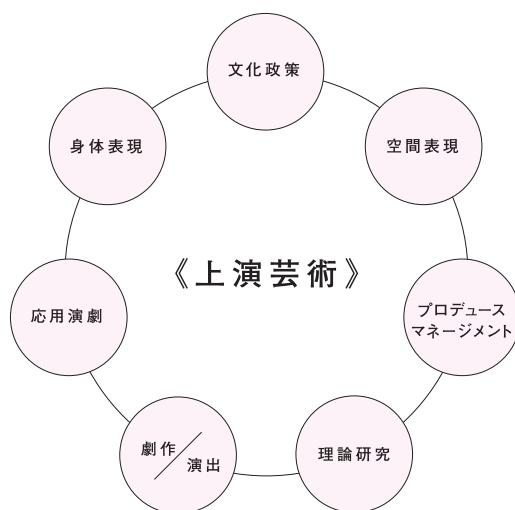
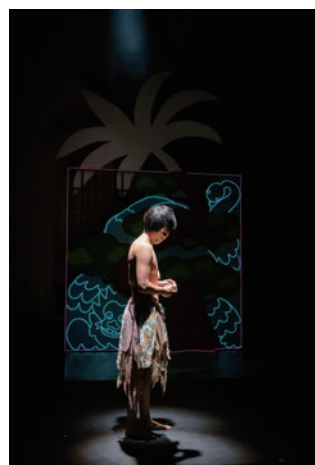
すべて《上演芸術》の中に含まれます。

人類の長い歴史の中で続いてきた芸術の形態——

これからも、人間が身体を持っている限り、なくならない芸術です。

わたしたちに浮上してくるのは、

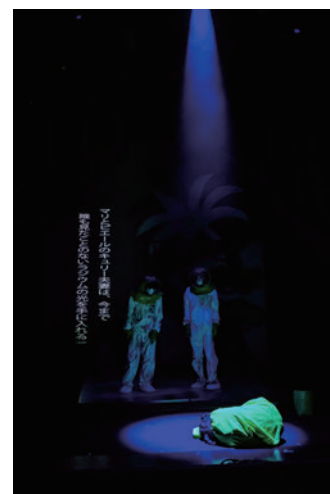
いつだってわたしたちの〈身体〉だから。



《上演芸術》の要素は全て繋がっています。

実技科目と講義科目があります。

卒業後、さらに大学院で学ぶこともできます。



2022年度 3年次 上演制作実習I
『多摩美能楽集Ⅳ ～私たちなりのそろりそろり、
朝と夜の大爆発キッス～』
◎上野毛キャンパス 演劇舞踊スタジオ スタジオB

コースで学び コースを越えて学ぶ

演劇舞踊デザイン学科には、
＜演劇舞踊コース＞と＜劇場美術デザインコース＞があります。
コースごとの専門性を深めると同時に、
「合同授業」を通じて交差し合いながら《上演芸術》を学びます。

演劇舞踊コースは、《上演芸術》を、
「身体と表現」の視点から探究していくコースです



劇場美術デザインコースは、《上演芸術》を、
「セノグラフィー（視覚演出）」の視点から探究していくコースです



2つのコースが交差し 共にグループワークする まさに一つの学科として 一つのカンパニーとして

自分、もしくは他者の〈身体〉をとおして表現する——
自分たちにしかできない〈表現のかたち〉をさがしだす——



授業のなかで、コンペや綿密な話し合い
が、たえず行われます

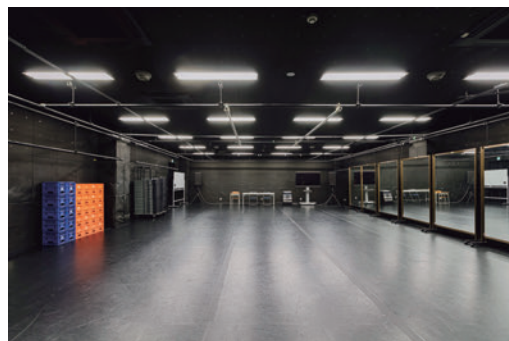


大小様々なスタジオがあります

稽古や、授業公演だけでなく、ここで自主的に公演をする学生もいます



3号館 実習室 鏡の間



演劇舞踊スタジオ スタジオD



演劇舞踊スタジオ スタジオA

デザイン画にとどまらず、

実物化していくためのアトリエがあります



A棟 舞台美術製作場



B棟 衣裳アトリエ

これからの表現を切り開いていく豊かな人材を 《上演芸術》の最先端で活躍する教員が育成します

『身体表現基礎Ⅱ』@2号館 2-B01 スタジオE



糸井幸之介 いとい ゆきのすけ

准教授 | 劇作家・演出家・音楽家

2年生はグループワークです。能から2.5次元舞台まで、日本演劇史の主要ジャンルを実演&レクチャー形式で発表します。



芝居と音楽が融合した作風を、「妙一ジカル」(＝妙なミュージカル)と称し、独自の音楽劇を創作している。主な作品に、FUKAIPRODUCE羽衣『プラトニック・ボディ・スクラム』『春母夏母秋母冬母』『愛死に』、木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』『心中天の網島』などがある。

『空間デザイン基礎Ⅱ』@演劇舞踊スタジオ スタジオA



大平智己 おおひら ともみ

講師 | 照明家

2年生の空間デザイン基礎Ⅱ「照明演習」では、グループで照明デザインの技法と照明操作の手順を学んでいます。



1998年～2023年、株式会社アート・ステージライティング・グループに在籍し、オペラ、演劇、各種イベントなどの照明デザインを担当する。愛媛県民オペラ『妖精の唄う島』で2004年度日本照明家協会賞新人賞を受賞。2007年以降は、シアターカンパニー「チェルフィッチュ」の『三月の5日間』や『ホットベッパ、クーラー、そしてお別れの挨拶』などの照明デザインを担当し、40カ国50都市以上での公演に帯同した。

『劇場美術演習Ⅱ』@2号館 2-203



金井勇一郎 かない ゆういちろう

教授 | 舞台美術家

舞台美術ゼミ(卒業制作)。舞台美術デザイン／小道具・大道具製作／論文のいずれかで表現します。



金井大道具株式会社 代表取締役社長。プロダクション・マネージャーをつとめた『ハリーポッターと呪いの子』が、読売演劇大賞選考委員特別賞、菊田一夫演劇賞大賞を団体受賞する(2022)。2006年には『NINAGAWA 十二夜』で読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、2008年に『憑神』で伊藤薫朔賞を受賞した。2023年に文化庁長官表彰、2024年には黄綬褒章を受章した。



加納豊美 かのう とよみ

教授 | 舞台衣裳家・衣服文化研究者

視覚演出・衣服文化の視点から創作・研究する授業を担当しています。“衣服”は饒舌。だから表現に使える！



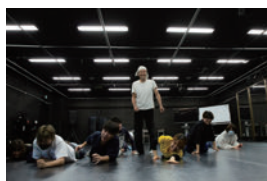
(有)アトリエ・DIG 代表。1984年～86年に中国留学。北京中央戯劇学院舞台美術学部で学ぶ。著書に『加納豊美 舞台衣裳の仕事』『キラボシ未来通信』、論文に「衣服・身体・所作・思考」シリーズなどがある。日本舞台テレビ美術家協会展協会賞、伊藤嘉朔賞新人賞を受賞。衣裳デザインを担当した演劇作品『貴婦人の来訪』(新国立劇場主催)は、読売演劇大賞上半期スタッフ部門ベスト5(2022)に選出された。東京演劇大学連盟代表理事。



近藤良平 こんどう りょうへい

教授 | ダンサー・振付家

“近藤授業”は、身体の持つ可能性を探る。表現する身体を経験する。仲間と創作をする。



コンドルズ主宰。彩の国さいたま芸術劇場・芸術監督。ヘルー、チリ、アルゼンチンで育つ。主な出演作に『THE BEE』『大名倒産』、振付出演に『からだであそぼ』(NHK)『サラリーマンNEO』内「テレビサラリーマン体操」(NHK)などがある。朝日舞台芸術賞・寺山修司賞(2005)、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞(2017)、横浜文化賞(2020)、紫綬褒章(2025)を受賞。著書に『近藤良平という生き方』『からだとの対話術』。



柴 幸男 しば ゆきお

准教授 | 劇作家・演出家

1年生は戯曲読解と個人創作。3年生は「調査」をテーマに何でもありの探求授業、4年生は「戯曲」を中心に物語の創作授業を行っています。



劇場から船上まで、学芸会から工場見学まで、場所や形態を問わない演劇活動を全国各地で行っている。2004年『ドミノ』仙台劇のまち戯曲賞を受賞。2009年 劇団「ままごと」を旗揚げし、『わが星』(2010)で岸田國士戯曲賞を受賞。近年の作品に、ままごと『あゆみ』『反復かつ連続』(瀬戸内国際芸術祭2022)、『わが町』(東京芸術劇場主催)、『邁向希望の三部曲』(大観国際表演藝術節)などがある。



土屋康範 つちや やすのり

教授 | 演劇研究者

演劇の歴史と理論の講義。戯曲は読み合わせます。新しい演劇はその根源を知ることによって生み出せる！



研究テーマはドラマ論、西洋近代劇論。劇的とは何か、なぜ人はドラマを求めるのかを日々探究している。2003年に明治大学大学院博士課程単位取得。著書に『演劇の課題』、『演劇の課題2』他、主な論文に「イブセン戯曲のリアリズムと象徴」、「ドラマ教育における即興劇の効用に関する試論」などがある。東京演劇大学連盟事務局長。



野上絹代 のがみ きぬよ

講師 | 演出家・俳優・劇作家・振付家

1年は「身体」、3・4年では「対話」を通じて他者と向き合いながら「集団で創る」ことを研究したり実践する授業です。



快快(FAIFAI)所属。多摩美術大学在学中に前身である劇団小指値(こゆびち)に旗揚げ公演より参加。以降、俳優・振付家として同劇団の国内外における活動に参加。ソロとしては演出家・劇作家としても幅広く活動している。近年の演出作品に音楽劇『空中ブランコのりのキキ』(世田谷パブリックシアター主催/原作:別役実)、振付作品に音楽劇『テラヤマキャバレー』(梅田芸術劇場主催/演出:デヴィッド・ルヴォー)、脚本作品に朗読劇『一富士茄子牛焦げルギー』(リコモーション主催/演出:河原雅彦)がある。



森山直人 もりやま なおと

教授 | 演劇批評家

テーマは「総合芸術」。演劇やダンスの他、映画やアニメやMVも総合芸術です。比較すると、何が見えてくる？



2001年から23年3月まで京都を拠点に活動。京都造形芸術大学舞台芸術研究センター主任研究員、及び機関誌『舞台芸術』編集委員の他、KYOTO EXPERIMENT実行委員長(2012~19)、京都芸術センター運営委員(2012年~)をつとめる。著書に『舞台芸術の魅力』(共著、放送大学教育振興会)など。『舞台芸術』、『シアターアーツ』、『ユリイカ』等に批評・論文を執筆。専門は演劇批評、現代演劇論。

教授－金井勇一郎/加納豊美/近藤良平/土屋康範/森山直人 准教授－糸井幸之介/柴幸男 講師－大平智己/野上絹代

客員教授－高萩宏

非常勤講師－阿部宗徳/石橋舞/今井豊茂/岩谷ちなつ/上田淳子/内田洋一/大石将弘/大塚義紀/大橋裕美/岡田裕子/岡本陽介/木皮成/北尾亘/窪田壮史
小池れい/小林愛子/坂本もも/佐藤恵/新川貴詩/滝口健/土田環/東條愛/富澤奈美/永野百合子/西田夏奈子/西村智弘/則武弥/林あまり
深井順子/藤巻聡/太湯雅晴/松田朋春/三浦洋子/宮下寛司/森佳子/安永瞬/若山幸雄

名誉教授－野田秀樹

発信ノ場 ザワザワ

演劇舞踊デザイン学科には、必修科目以外にも様々な公演のチャンスがあります。

PBL (Project Based Learning) 地域連携アートプロジェクト

上野毛キャンパス近隣の複合商業施設・二子玉川ライズと共に2011年より地域連携アートプロジェクト「タマリバース」を開催。2016年度からはPBL科目として企画立案、クリエイション（劇作、演出、美術、衣裳デザイン、出演など）、広報（WEB／交通広告など）を学生が主体となって展開しています。メインイベントの広場演劇は、今や街の風物詩です。



タマリバース vol.13 広場演劇「ミテル？」

学生自主企画公演

演劇舞踊デザイン学科は学事のためだけでなく、学生主体の自主企画の公演場所としてスタジオを貸し出しています。様々な時期に様々なスタジオで、学生による名作が日々誕生しています。



徒然鶴『傷は浅いぞ』@演劇舞踊スタジオ スタジオD



『心動-揺れる心-』@演劇舞踊スタジオ スタジオB

照明ゼミ主催舞踊公演

照明ゼミは毎年7月に舞踊公演を開催しています。この公演は照明デザインの経験を積むことを目的に据え、ゼミとして企画・広報・舞台設営にも取り組み、一つの公演をプロデュースしています。ダンサーは全学年から公募、照明デザインは照明ゼミ4年生が取り組んでいます。2025年度は、衣裳ゼミ3年生の希望者が、衣裳デザインの学びの場として参加します。

多摩美シアタープロジェクト びびび

舞台の真の魅力を一般社会に発信する「多摩美シアタープロジェクト びびび」が、2025年度からスタートしました。《上演芸術》の最前線で活躍するアーティストである教員と学生たちによる真剣勝負の場。俳優やスタッフワークのプランナーは、学科内オーディションやコンペティションを通じて選抜されます。（第1回公演『アートマーザー』、2025年9月13-15日@彩の国さいたま芸術劇場）。

多摩美シアタープロジェクト びびび

<びびび>宣言～明日の世界へ

何かが<びびび>と伝わり、
<びびび>と破れ、
<びびび>と光り輝く。

美からも自由になる意力が響きわたる音色こそが、
<びびび>だ。

美というより<び>。

若い学生たちとアーティストとが力を合わせて
互いの多様性を<びびび>と重ね合い、
<びびび>と溶け合い、
閉塞感あふれるこの世の中を<びびびび>と
描きだすこと。

それこそが<びびび>のわくわくする目標なのだ。

多摩美シアタープロジェクト びびび

ステートメント「<びびび>宣言～明日の世界へ」より一部抜粋



在校生の声



劇美4年 岡田ミカオリビア



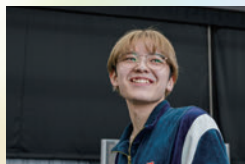
演舞3年 鈴木楓



劇美3年 丹羽篤仁



演舞2年 大和田鼓己



劇美2年 桐越桜人

Q1 この学科を受験した動機はなんですか？

岡田：セットデザイナーか舞台美術家になりたかったから。

鈴木（楓）：卒業生に尊敬している人がいた。

丹羽：演劇と映像（特にアニメ）が好きだったから。

大和田：演劇と関係のない大学に行くことを決めていたのですが、自分の本当にやりたいことを見直した時、自分の夢を叶えるビジョンを見ました。

桐越：絵が好きで美大を目指したが、受験勉強を通して新たな世界や個性を活かすことができることを考えて受験した。

安藤：生き抜くための力が欲しかったから。

Q2 受験対策は？

岡田：高校の美術の先生のアドバイスで一年間ほど渋谷の画塾に通いました。

大和田：演劇に関する本を読み漁った！

鈴木（楓）：小論文。形を保ちつつ、型にはまらない自分なりの文章を書けるように練習した。

一木：面接と小論文。「自分にとって演劇とは何か」を言葉にできるように、自分の経験や価値観とたくさん向き合いました。

キム：ポートフォリオは、自分のストーリーをしっかりと作品に反映させることを特に意識しました。“私はどんな人間か”が伝わるように、自分自身の考えや経験を作品に込めるよう努めました。

内藤：体力をつけるためのランニング。

Q3 この学科に入ってよかったところは？

平岡：自主企画が多く、年間何本もの舞台に関われます。

大和田：美大ならではのコミュニティの広がり。

キム：スタジオや作業場などの設備、そして質の高い機材を活用できる点です。

丹羽：先生方や研究室の方々がとても相談しやすい。あと、駅から近い。

草野：自分の発想力や個性を伸ばし活かせる環境。

内藤：同じ目的を持った人と共に出来ること。

一木：現役で活躍されている先生方が多く、現場のリアルな話を間近で聞けるのが刺激的です。

Q4 入ってみて、印象と違ったところは？

平岡：課題の量。「大学生活は人生の夏休み!」は嘘です。

鈴木（遥）：奇抜ではっちゃけているイメージでしたが、根は真面目な人が多い。

桐越：頭を自由に使う授業が多く楽しかった。



演舞4年 安藤優

Q5 印象的な授業や課外活動などについて、教えてください!

岡田：柴さんの授業。自分は劇美ですが、身体も思考も自由に発想して動かすのが新鮮でした。

鈴木（遥）：観劇授業。さまざまな分野の観劇を通して知る機会が増えました。

鈴木（楓）：劇作家に興味があったので、戯曲を書く授業。それから、授業外の自主企画公演を、芸術祭で1公演、上野毛キャンパスのスタジオで1公演行いました。実際にやってみないとわからない高揚感、を感じた。

平岡：衣裳演習! 2年に上がってから毎週ドレスコードを決めて、決まった色の服で講義を受けています。PBLの「タマリバーズ」にも参加。出来上がった衣裳を役者が着てくれると可愛くて仕方なかったです!!

一木：チェーホフの戯曲を朗読しながら読み進めていく授業。とにかく楽しい! PBLの「タマリバーズ」は3年連続で参加しました。広場演劇というなかなか経験できない形式で、他学科の学生と協力してつくりあげる過程にやりがいを感じた。

安藤：「プロジェクト演習」に参加中。嘘のないことばを、かんがえる日々です。



演舞3年 一木海南江



劇美3年 キムミンフィ



演舞1年 内藤悠翔

Q6 将来の夢はなんですか？

岡田：無事に内定をいただけたので、一人前のセットデザイナーになれるように頑張ります!

丹羽：劇作家、演出家、カメラを使って映像を撮る。

草野：劇団四季団員、もしくはテーマパークダンサー。

鈴木（遥）：舞台セットやインテリアなど空間を作る仕事に携わりたいと思っています。

内藤：人を楽しませるエンターテイナー。

桐越：まだ断言できるものはないが、自分がやりがいを感じることをしたいです。



劇美2年 平岡朱夏



演舞4年 草野浩世

Q7 これからの受験生にメッセージを!

キム：一人ひとりにはそれぞれの色、ペース、そして目指すゴールがあることを忘れないで。

安藤：大学に入って、大好きな人がたくさんできました。

丹羽：体調と精神の安定が全て。

草野：自分の個性を見つけ、育てることができる場所が多摩美です。

鈴木（遥）：自分の好きなものを作り、その良さが人に伝わった時の嬉しさは一生の宝物です。

内藤：悩んでいるなら受けた方が良い!



劇美1年 鈴木遥夏

多摩美術大学は2025年に創立90周年

多摩美における《上演芸術》の教育は1954 年からの長きに渡ります。
改組を重ねて現在の学科に至り、2025年春には8期生が巣立ちました。
専門性の高い学びを生かして歩みを進めている卒業生の声をお届けします。

多摩芸術学園 演劇学科・芸能美術学科	溝の口キャンパス	1954－1992
多摩美術大学 美術学部二部 芸術学科	上野毛キャンパス	1989－2002
多摩美術大学 造形表現学部 映像演劇学科	上野毛キャンパス	1999－2017
多摩美術大学 美術学部 演劇舞踊デザイン学科	上野毛キャンパス	2014－

快快

ファイファイ



北川陽子

(劇作家・演出家／2001年入学)

佐々木文美

(舞台美術家／2001年入学)

大道寺梨乃

(俳優／2001年入学)

野上絹代

(演出家・振付家・俳優・劇作家／2001年入学)

藤谷香子

(衣裳家／2001年入学)

山崎皓司

(俳優／2001年入学)

在学中の2004年、前身である劇団小指値(こゆびち)を旗揚げ。東京を中心に活動する劇団。変化し続けるメディア、アートの最前線にアクセスしつつ「演劇」をアップデートし、社会性とポップで柔らかなユーモアを併せ持つメッセージで幅広い支持を得る。2009年よりアジア、EUにも活動の場を広げ、2010年9 月代表作『My name is I LOVE YOU』でスイスのチューリヒ・シアター・スペクタクルにてアジア人初の最優秀賞、「ZKB Patronage Prize 2010」を受賞。メンバーそれぞれが独立したアーティストとして活動の幅を広げている。

2022年 『コーリングユー』@KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ

2018年 『ルイ・ルイ』@KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ

2015年 『再生』@KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ

2010年 世田谷区芸術アワード“飛翔”受賞

2010年 ZKB Patronage Prize 2010 受賞



『ルイ・ルイ』



『コーリングユー』

妖精大図鑑

ようせいだいずかん

飯塚うなぎ (2011年入学)

永野百合子 (2011年入学)

鈴木はじめ (2010年入学)

主に舞台作品を創作するパフォーマンスユニット。振付の永野百合子、脚本の飯塚うなぎ、音響の鈴木はじめの3人組。ダンス、歌、コント、など様々なシーンによって構成される舞台作品を多く発表。エキセントリックセンチメンタル。単独公演の他、ダンスフェスティバルなど、様々な界隈にひょっこり出現中。

2024年 妖精大図鑑『魔女の一撃』@神楽坂セッションハウス

2023年 妖精大図鑑『無関係のジョバンニ』@吉祥寺シアター

2022年 別冊 妖精大図鑑『会議は踊る』@アーツ千代田3331 B104

妖精大図鑑『ASAKUSA THUNDER GATE』@浅草九劇

WS講師「夏休みだよ! ホールdeわくどぎ! 舞台体験」舞台集中クラス@秩父宮記念市民会館



ヨコハマダンスコレクション2023コンベI 参加作品
『雨粒拾い、屋上にて。』撮影:金子愛帆



『魔女の一撃』撮影:福本剛士

転転飯店

てんてんはてん



平山犬 (2012年入学)

中村亮太 (2012年入学)



作家・平山犬と役者・中村亮太を中心に結成されたコントユニット。在学中より作品創作を共にしてきたスタッフメンバーと2023年からコントユニット「転転飯店」として活動を開始する。“無理なく、楽しく、健康に”をコンセプトに掲げ、“持続可能なコント公演”と銘打った劇場公演を上演している。また、YouTubeを中心に各種SNSにて「劇場に向かうハードルを下げる」を目標にショートコントなどを公開している。チャンネル登録者は、59万人を突破。(2025年6月現在)

2025年 『スケスケ・ア・ゴーゴー』@中野 劇場MOMO

2024年 『カルク・フィクション』@池袋 スタジオ空洞

2023年 『リンリンジャンジャンカイホウ』@池袋 スタジオ空洞

2023年 『デラックス桃源郷DX』@池袋 スタジオ空洞

上／『カルク・フィクション』
下／『スケスケ・ア・ゴーゴー』



humunus

フムヌス

小山薫子 (2014年入学)

キヨスヨネスク (2014年入学)



2018年、俳優の小山薫子、キヨスヨネスクによる演劇ユニットとして結成。俳優同士による創作法を探索。地理学的アプローチでフィールドワークを行い、土地や環境を条件づけている人間と非人間の活動の重なるの配置にドラマを見出し、それらを音声・身体表現の新たな方法の探究を通して作品化している。上演にとどまらず、映像作品や展示、書籍の制作も行う。2020年より福島県富岡町に拠点「POTALA-亜窟」を開設。他、声と身体をテーマとしたワークショップ講師としての活動など。

2024年 ラボ企画『HUM&HAW』

2022年 『〈碇と船〉—うつつ、揺蕩い』

2021年〜 ツアー『うつつほの襲』

2021年 映像『荒川平井住宅』

上／ツアーパフォーマンス『うつつほの襲』
撮影:岩波友紀
下／映画『海壁-Seawall(仮)』
©humunus



ザジ・ズー

ZAZI・ZOO



今井桃子 (衣裳・俳優／2020年入学)

西崎達磨 (作家、ドラー／2020年入学)

徐永行 (俳優／2020年入学)

狩野瑞樹 (俳優、作家、演出家／2022年編入)

柿原寛子 (俳優／2020年編入)

白鳥真生 (舞台作家、俳優／2020年入学)

木村友哉 (制作者／2018年入学)

松林京子 (舞台監督／2019年入学)

濱野ゆき子 (俳優、ナレーター／2012年入学)

黒澤陽 (音響家、社会人／2020年入学)

丹野武蔵 (俳優、MUSIC／2016年入学)

松井絵里 (俳優、劇作家、演出家／2020年入学)

2022年結成。複数の劇作家・演出家・俳優で集い、「アガリクスティ・バイソン」という名義で、時には個人名で、お互いの演劇観を交感し創作する集団。銘々が自立した作り手としての意識を持ち、「遊び」という思想の核をどっかその辺に据えながら融合と分離を繰り返す。集団の姿勢としては「個と場」を最も尊重し、現代美術、服飾、音楽、スポーツなどに明るいそれぞれが、その時着たい服を着替えるように楽しみながら、公演形態や作風を変様させる。

2025年 『大花見上会』@水性

『BENK×BENG』@SOZOUcafé (和歌山県田辺市)

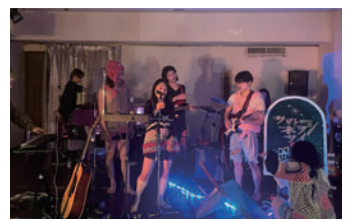
2024年 『MY NAME IS I LOVE YOU』@王子スタジオ1

『ザジ・ズー オブ ザ ナイト〜kiss降る夜に星を見ろ!〜』

@東京・横浜全6会場

2022〜23年 劇的vol.1,2 観客賞2連覇

上／『ザジ・ズー オブ ザ ナイト〜kiss降る夜に星を見ろ!〜』
下／『ZAZI・ZOO JAPAN TOUR 2023 FINAL』
撮影:渡邊結衣



主な進路先

演劇舞踊コース【卒業後の展望】

就職: 松竹(株)、チャコット(株)、(株)JTB コミュニケーションデザイン、(株)木下工務店レジデンス、(株)メディアミックス・ジャパン、朝日生命保険相互会社、(株)マーベラス、日本航空(株)、カーズ(株)、(株)イズム、TAC(株)、(株)東急文化村 など

進学: 多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程、東京藝術大学大学院美術研究科・映像研究科、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ博士前期課程、ワタナベエンターテインメントカレッジ俳優養成所、文学座附属演劇研究所

劇団など: 劇団唐組、ままごと、ザジ・ズー

劇場美術デザインコース【卒業後の展望】

就職: 金井大道具(株)、劇団四季、松竹衣裳(株)、(株)シミズオクト、高津装飾美術(株)、(株)角川大映スタジオ、(株)日本テレビアート、(株)ポニーキャニオン、(株)オリエンタルランド、(株)TBSアクト、東宝舞台(株)、(株)アトリエ・カオス、(株)シミズオクト、(株)東京舞台照明、(株)テレビ朝日クリエイト、日本ステージ(株) など

進学: 多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程、東京藝術大学大学院美術研究科・映像研究科、京都伝統工芸大学学校

劇団など: 文学座

加藤 諒

かとう りょう

俳優 (2008年入学)



ミュージカル『スウィーニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師』演出・振付:宮本亜門／東京建物Brillia HALL、梅田芸術劇場、他、2024
提供:ホリプロ／撮影:渡部孝弘



『バタリロ!』演出:小林顕作／紀伊國屋ホール、他、2016初演 ©魔夜峰央／白泉社 ©舞台「バタリロ!」製作委員会

実技の授業が多かったことが楽しかったです。舞台制作やフィルムで短編映画を撮ったり写真を撮ったり、学内劇団に入って制作発表会に参加しました。時には学校から飛び出して、二子玉川ライズ×多摩美の『タマリバース』にも参加させていただいて、ひびのこづえさんの衣裳を纏い、森山開次さんの振付を踊りました。学生時代に第一線で活躍されている方や先生方とクリエイティブ出来る環境があった事は、今の自分の活動にも繋がる大事な時間だったと思います。

1990年2月13日生まれ、静岡県出身。俳優としての活動のほかバラエティ番組でも個性あふれるキャラクターで人気を集めている。近年の主な出演作に、映画『翔んで埼玉』シリーズ(2019・2023)、舞台『バタリロ!』シリーズ(2016～22)、ミュージカル『スウィーニー・トッド フリート街の悪魔の理髪師』(2024)などがある。

金澤 菜乃英

かなざわ ななえ

演出家 (2006年入学)



一年時は必修で沢山の舞台や映画を鑑賞しました。ピナ・バウシュ『春の祭典』を鑑賞した際、コンテンポラリーダンスとの初めての出会いに興奮したことを昨日のこのように覚えています。上演実習では企画プレゼンから始まり、作・演出・美術製作や照明操作、時々出演することもあり自由な創作を伸び伸びとさせてもらえて今があります。私の創作への礎はこの学生生活で育まれました。個性的な教授陣や仲間との交流は今も続いています。



『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』(2024)@吉祥寺シアター 提供:劇団青年座／撮影:坂本正郁



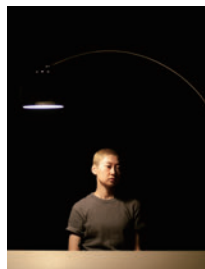
『ミュージカルおれたちは天使じゃない』(2021～24)@俳優座劇場、他、全国公演 提供:株式会社オールスタッフ／撮影:日高仁

1987年東京都台東区出身。2010年映像演劇学科卒業後、青年座研究所入所。2012年劇団青年座文芸部入団。演出部や演出助手を経て、2015年『二人だけのお葬式〜かの子と一平〜』(作:吉永仁郎)で演出家デビュー。新作書き下ろしや翻訳劇などのストレートプレイを中心にミュージカルや音楽劇まで幅広く手掛けている。近年の活動歴として2024年『諸国を遍歴する二人の騎士の物語』(作:別役実) [劇団青年座]、2025年『明日葉の庭』(作:堤康之) [上越シニア劇団]など。2026年は、新国立劇場シーズン2025/2026で、ノゾエ征爾新作の演出が決まっている。

橋本 ロマンズ

はしもと ろまんず

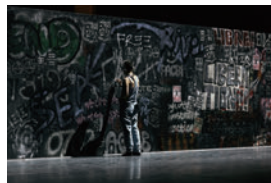
演出家、振付家、キュレーター
(2014年入学)



学校で過ごした日々の中で、特にあの頃にしか得られなかったものは、全力で失敗することが出来る環境でした。採算のことも、今後の仕事のことも気にせず、とにかく今出来ることを全力でやり、時には失敗し、それでもまたやり直す機会が与えられる。業界の中に入ってしまうと、これらを得ることはとても難しいです。あの時、そうやって毎回の授業課題に全力で突っ込んでいて獲得したものが、今の自分の根になっていると思います。たかが授業と侮るなかれ、全力で失敗出来る貴重な環境を存分に使い倒してほしいです。



『饗宴/SYPOSITION』(2024)@世田谷パブリックシアター
撮影:Yulia Skogoreva



1995年生まれ。東京都出身。they/them。マイノリティ・ポリティクス、クィア・アクティヴィズム、脱植民地主義などを主題とし、抵抗やノイズを生み出す手段として作品と社会/都市を地続きにすることを目的とした同時代性の高いパフォーマンス作品制作やプロジェクトを企画。自身の作品を出演者/協働者が作品の主題に向き合うための装置だと捉え、身体技術よりも作品における当事者性を持つ人々との協働を多く行う。近年の活動歴として2024年『饗宴/SYPOSITION』演出、振付 (@世田谷パブリックシアター)、2023年『Pan』演出、振付 (@愛知県芸術劇場) など。受賞歴として2024年朝日新聞年間ベスト舞踊公演選出、読売新聞年間ベスト舞踊公演選出など。

乗峯雅寛

のりみね まさひろ

舞台美術家 (1998年入学)



大学1年の時に演劇と出会い、僕の世界は大きく変わりました。上演実習や卒業制作がデビュー作、そのまま今の仕事に結びついています。発見した面白いことを、一緒に楽しめるチームとさらに膨らませて観客に届ける。実習で学んだ舞台の基礎は今も変わりません。技術と、何より大事なコミュニケーション。大切なことを学んだ4年間です。



ミュージカル『ダブリンの鐘つきカビ人間』(2024)
@東京国際フォーラム ホールC 演出:ウォーリー
木下/ PARCO&CUBE produce



『肝っ玉お母とその子どもたち』(2025)
@文学座アトリエ 演出:西本由香

2007年文化庁新進芸術家海外研修生として渡英。読売演劇大賞最優秀スタッフ賞、紀伊國屋演劇賞個人賞、伊藤嘉朔賞新人賞など受賞多数。ストレートプレイを軸に、ミュージカル、2.5次元など様々なジャンルの舞台美術デザインを手掛けている。文学座所属。

藤谷香子

ふじたに きょうこ

衣裳家 (2001年入学)



コミュニケーションの重要性、コミュニケーションの結晶が作品かもよと思うくらいそこから学びを得ました。それによって、私たちが生きる社会と生きている観客(自分含め)に芸術はどうあるか、っていう自分の態度/姿勢をもつことを獲得したと思います。この学びに自分は確実に生かされてるし、サーフする力も波を見る力も未だに鍛えられ続けています。



チェルフィッチュ×藤倉大 『リビングルームのメタモルフォーシス』(2025)@神戸文化ホール



ハラサオリ『PLAY MODULOR』
(2025)ビジュアルイメージより

快快(FAIFAI)所属。きゅうかくうしおにも所属。在学中より衣裳家として活動を始め、国内外の演劇、ダンス、オペラ、コンサート、現代美術の作品や芸術祭でのパフォーマンス作品に参加し多岐にわたる分野で活動を行う。その他、宣伝衣裳、美術館でのWS、講師として授業も行う。近年は、岡田利規の演劇作品、金氏徹平の現代美術作品、角銅真実、中村佳穂など音楽家へのスタイリング、近藤良平×永積崇(ハナレグミ)「Great Journey」シリーズに参加。

寅川英司

とらかわ えいじ

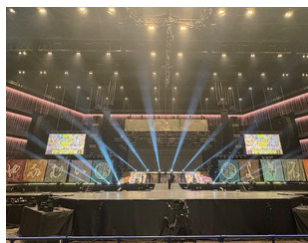
技術監督、舞台監督
(1995年入学)



大学4年間クソがつくほど思う存分やらせてもらいました。実習、座学、卒業研究、卒業制作、自主企画公演。ここで夜遅くまで仲間とコミュニケーションを取りひたすら「いいもの」を作るために、ない知恵を振り絞った気がします。断言します! 大学で自然と学びとれたものは舞台作りの基礎であり今でも変わらず生きてます。やりたいこと探して悔いのないように楽しんでください。



ミュージカル『刀剣乱舞』祝玖寿 乱舞音曲祭
[いわいのくじゅ らんぶおんぎょくさい]
(2024)@Kアリーナ横浜



MANKAI STAGE [A3] ACT3! (2025)
@KAAT神奈川芸術劇場

愛知出身。TV、舞台、スチールなど役役として業界に入る。上京をして大学在学中に舞台にのめり込み舞台スタッフに興味を抱く。卒業後からフリーの舞台監督として小劇場中心に劇団公演に参加。BATIK、salvanilla、山海塾、能などで海外公演多数経験。2009年からF/T(フェスティバルトリーキョー)技術監督、さいたまトリエンナーレ技術監督、E-1グランプリ、他。2024年の活動はMANKAI STAGE [A3] シリーズ、刀剣乱舞シリーズ、『ミュージカル刀剣乱舞乱舞音曲祭』、呪術廻戦、ブルーロック、もの、の怪、東京リベンジャーズ、ヘタリア、新宿御苑森の薪能、サンリオピューロランドフェアリーシアター「びよんわ」など。ミュージカル、2.5次元、コンテンポラリーダンス、舞踏、能狂言(観世流)、イベント、などのジャンルに携わり現在に至る。

2026年度入試案内 入試の詳細については各種「2026年度学生募集要項」でご確認ください。

◆ **一般選抜（一般方式 / 共通テストI方式 / 共通テストII方式）**

一般方式 募集人員：演劇舞踊コース14名 / 劇場美術デザインコース14名

実施日	コース	試験科目
2月7日(土)	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン・デザイン
2月10日(火)	● 演劇舞踊・劇場美術デザイン	学科試験(国語・英語)
2月12日(木)	● 演劇舞踊	身体表現

共通テストI方式 募集人員：演劇舞踊コース8名 / 劇場美術デザインコース5名

実施日	コース	試験科目
1月17日(土) 1月18日(日)	大学入学共通テスト(7教科17科目から2教科2科目選択)	
2月7日(土)	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン・デザイン
2月12日(木)	● 演劇舞踊	身体表現

共通テストII方式 募集人員：劇場美術デザインコース3名

実施日	コース	必須・選択等		試験科目
1月17日(土) 1月18日(日)	劇場美術デザイン	必須	数学①	「数学I, 数学A」
		必須	数学②	「数学II, 数学B, 数学C」
		選択1科目	理科	「物理」「化学」「生物」「地学」
		選択1科目	国語	「国語(近代以降の文章)」
			外国語	「英語」
			情報	「情報I」

◆ **総合型選抜**

募集人員：演劇舞踊コース18名 / 劇場美術デザインコース18名

実施日	コース	試験科目	提出物
11月22日(土)	● 演劇舞踊	小論文・身体表現	—
	● 劇場美術デザイン	鉛筆デッサン	—
11月23日(日)	● 演劇舞踊	面接	—
	● 劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※

※ポートフォリオは出願時に提出

◆ 外国人留学生選抜・帰国生選抜・3年次編入学選抜

外国人留学生選抜・帰国生選抜 募集人員：演劇舞踊コース若干名 / 劇場美術デザインコース若干名

実施日	コース	試験科目	提出物
12月18日(木)	● 演劇舞踊	小論文	—
	● 劇場美術デザイン	小論文・鉛筆デッサン	—
12月19日(金)	● 演劇舞踊	身体表現・面接	—
	● 劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※

※ポートフォリオは出願時に提出

3年次編入学選抜 募集人員：演劇舞踊コース若干名 / 劇場美術デザインコース若干名

実施日	コース	試験科目	提出物
12月18日(木)	● 演劇舞踊	小論文	—
	● 劇場美術デザイン	小論文・鉛筆デッサン	—
12月19日(金)	● 演劇舞踊	身体表現・面接	これまでの作品・活動記録等を書面にまとめたもの(書式自由)※1
	● 劇場美術デザイン	面接	作品およびポートフォリオ※2(出身学校の課題を含む)

※1 全て出願時に提出

※2 ポートフォリオは出願時に提出

◆ 大学院美術研究科博士前期課程(修士課程)選抜

募集人員：演劇舞踊専攻(演劇舞踊研究領域 / 劇場美術デザイン研究領域) 8名

実施日	研究領域	試験科目	提出物
1月26日(金)	● 演劇舞踊 ● 劇場美術デザイン	小論文	—
1月27日(土)	● 演劇舞踊	面接	作品3点以上(形式自由)およびポートフォリオ※1
	● 劇場美術デザイン		作品3点以上(形式自由)およびポートフォリオ※2

※1 全て出願時に提出

※2 ポートフォリオは出願時に提出

入学試験会場

● 上野毛キャンパス

● 八王子キャンパス



学 費



奨 学 金 情 報

自由と意力

Freedom and Will

観察し、思考しよう。

構想し、実行しよう。

創造し、表現しよう。

何事にも妨げられない自由な想像力と、

独自の世界を築き続ける強い意志とともに。

意力によって自由は生まれ、

自由によって意力は育まれる。



2025 オープンキャンパス(八王子キャンパス)
7月19日(土)～20日(日)、9月28日(日)
2025 進学相談会(上野毛キャンパス)
サマースクール: 7月29日(火)～8月6日(木)
ウィンタースクール: 12月20日(土)

学科公演・進学相談会など情報更新中!



学科 HP



演舞コース
紹介動画



劇美コース
紹介動画



募集要項